

保護者様

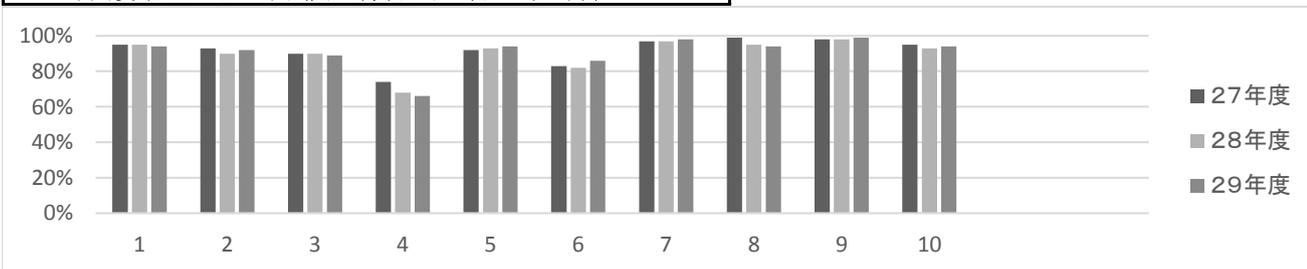
富士市立富士中央小学校
校長 市川 清美

平成29年度 第1回「学校評価」集計結果の報告

保護者の皆様には、日頃より本校の教育に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて4月から7月までのお子さんの様子や家庭における保護者の取組、富士中央小の教育活動等を振り返り「学校評価」をしていただきました。まもなく前期を終える時期となりまして、結果をご報告するとともに、後期の学校改善の参考にさせていただきます。今後も、子どもたちのより良い成長を目指して、家庭、地域との連携を深めていきたいと思っております。

1 保護者からの評価（肯定回答の割合）



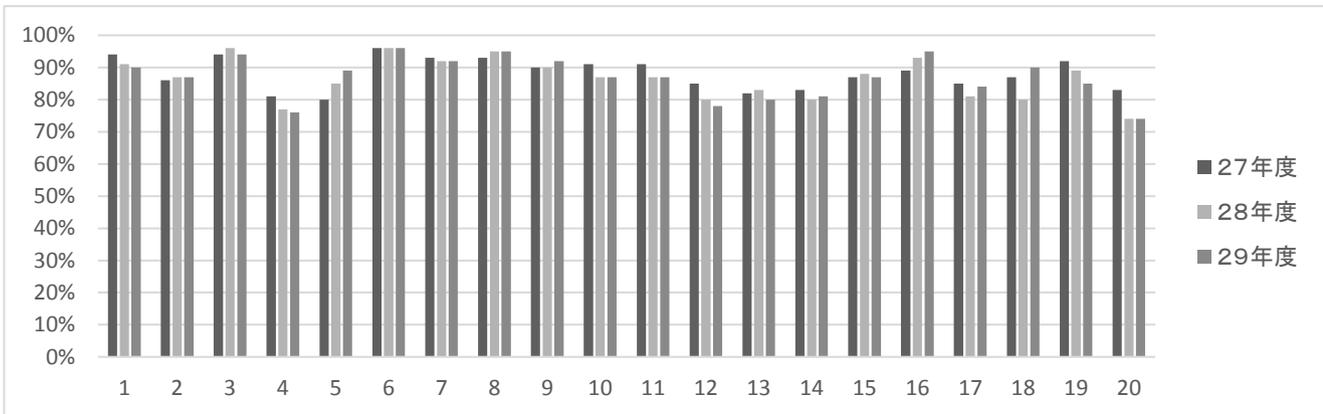
	27年度	→	28年度	→	29年度	
1 子どもは、 よい表情 で楽しそうに学校に行っている。	95%	→	95%	→	94%	
2 子どもの交友関係を把握している。	93%	→	90%	→	92%	+2%
3 家族や近所で挨拶をしている。	90%	→	90%	→	89%	
4 家での役割 があり、お手伝いをしている。	74%	→	68%	→	66%	-2%
5 家庭学習の見届けや励ましをしている。	92%	→	93%	→	94%	
6 子どもは家で学校の話をよくする。	83%	→	82%	→	86%	+4%
7 子どもの食事や睡眠、体力作り等への配慮をしている。	97%	→	97%	→	98%	
8 社会のルールを話す。→子どもに 忘れ物 をしないように見届けや声掛けをする。	99%	→	95%	→	94%	
9 学校からのお便りや配付物に目を通してしている。	98%	→	98%	→	99%	
10 困った時に、学校の先生方に気軽に相談する。	95%	→	93%	→	94%	

*太字は変更になった質問内容

【成果と課題】

- ◎「はい」「どちらかと言えば、はい」の肯定的な回答が、1項目を除いてすべて85%以上、そのうちの7項目は90%以上と高い割合でした。前向きに学校生活を支えてくださっている表れとありがたく受け止めています。
- ◎中でも、次の2項目は毎年100%に近い肯定的な回答を得ており、ご家庭の教育への関心の高さ、協力体制の確かさを力強く感じます。
 - ・7「子どもの食事や睡眠、体力作り等への配慮をしている。」
 - ・9「学校からのお便りや配付物に目を通してしている。」
- ◎5「家庭学習の見届け」の数値は年々着実に上がっています。家庭学習の習慣化は、基礎学力の定着につながり、その成果は全国学力・学習状況調査の結果にも表れています。
- ◎今回最も伸びた項目は、6「子どもは家で学校の話をよくする」でした。これからも思わず話したくなるような教育活動の充実を図ってまいります。また、お子さんの話の中で気がかりなことがございましたら、遠慮なくご相談ください。より良い理解と早期対応につなげてまいります。今後も対話を大切にしてお子さんの思いを受け止めていただけますようお願い申し上げます。
- 4「家での役割があり、お手伝いをしている」は下がり続けています。そこで夏休み前にお便りをお願いしたところ、朝礼で「夏休みにお手伝いをした」と自信を持って挙手をした子どもが多くおりました。きっと、ご家族の励ましがあったことと想像します。子どもの頃任せられていた仕事は、大人になっても心や体に思い出とともにしみ込んでいるものです。学校では、働き者の子どもたち、ご家庭でも頼りになる我が子の姿を認めてあげてほしいと願っています。

2 子どもの自己評価（肯定回答の割合）



	27年度	→	28年度	→	29年度	
1 学校は楽しい。→学校での 活動に楽しく取り組もう としている。	94%	→	91%	→	90%	
2 授業はよく分かる。	86%	→	87%	→	87%	
3 先生や友達の話をしっかりと聞ける。	94%	→	96%	→	94%	-2%
4 先生や友達に自分の思ったことが伝えられる。	81%	→	77%	→	76%	
5 自分の考えや学習したことがノートに書ける。	80%	→	85%	→	89%	+4%
6 いっしょに遊ぶ友達がいる。	96%	→	96%	→	96%	
7 一緒に遊ぶ友達がいる→ 自分のことを大切にしている。	93%	→	92%	→	92%	
8 友達に「ありがとう」等、あたたかい 言葉をかえす。	93%	→	95%	→	95%	
9 友達を「くん、さん」付けで呼んでいる。	90%	→	90%	→	92%	+2%
10 あいさつや返事は、 相手より先に 自分から進んでできる。	91%	→	87%	→	87%	
11 学年のめやすの時間まで家で勉強する。	91%	→	87%	→	87%	
12 家に帰ってから宿題以外の勉強をしている。	85%	→	80%	→	78%	-2%
13 学校や家で読書は毎日している。	82%	→	83%	→	80%	-3%
14 運動をすることが好き。	83%	→	80%	→	81%	
15 「2分前行動、1分前着席」ができています。	87%	→	88%	→	87%	
16 前の日に学校のしたくをしている。	89%	→	93%	→	95%	+2%
17 忘れ物をしていない。	85%	→	81%	→	84%	+3%
18 靴箱やトイレのサンダル の整理、整とんができています。	87%	→	80%	→	90%	+10%
19 「だいじ掃除」に気をつけて 黙って 掃除している。	92%	→	89%	→	85%	-4%
20 困った時に、先生方に相談する。	83%	→	74%	→	74%	

*太字は変更になった質問内容

【成果と課題】

本年度児童会のめあてを決めるに当たり、子どもたちは中央小の課題が「あいさつ、思いやり、だいじ掃除」にあると考えました。今回の調査では、その取組への評価が分かれました。

※中央小だいじ掃除(黙って、一生懸命、時間一杯)

- ◎「思いやり」に関連する6番から9番の項目においては、肯定的な回答が90%を超えています。特に9「さん、くん付け」は昨年度に比べて評価がよくなっており、定着しつつあることがうかがえます。
- 「あいさつ」については現状維持との評価ですが、実態とのずれを感じます。心から気持ちのよいあいさつが自然にできる子どもたちになってほしいと願っています。
- 19「黙って掃除をする」の評価は下がりました。黙ってやることの意義が浸透せず、まだ身に付いていないことを子どもたち自身が自覚しています。以上の点について、児童会が中心となって、声を掛け合ったり、掲示物で取組の可視化を図ったりと子どもたちが主体的に取り組めるよう支援しています。次に学習面についてですが、
- ◎5「自分の考えや学習したことがノートに書ける」が、年々確実に増えています。これまで、国語科を中心に全校体制で授業改善を強化してきた成果が子どもの実感として表れています。また学習を見届けてくださる保護者が多いことも大きな支えです。今後も振り返りの質を高め、自己の思考過程をたどり、書くことを通して考える力をつけていきたいと思います。
- 12「宿題以外の勉強」、13「毎日の読書」が減りつつあり、限られた時間をどう使うかは考えさせられる課題です。生活全般を通して、
- ◎18「整理、整とん」の数値が高まるなど、生活規律の向上が見られます。
- 4「自分の思ったことを伝える」、20「困ったときに先生方に相談する」子どもたちが増えていくよう、本年度、授業の重点としている「コミュニケーション能力の向上」からも迫っていきたいと考えます。